



2011年4月21日
ミニストップ株式会社
(証券コード 9946)

各位

東日本大震災 4月中に被災地域のミニストップ全店舗で営業を再開します

ミニストップ株式会社(本部:千葉県千葉市 代表取締役社長:阿部 信行)は、東日本大震災発生後、お客さまに一番身近な地域のインフラとして、いち早く店舗を開店するべく対応を進めてまいりました。地震発生後、3月14日時点では東北地方と茨城県の160店が震災の影響により休業しておりましたが、この度、4月末までに全店舗で営業を再開する運びとなりましたので、お知らせいたします。

4月26日(火)には、宮城県内3店舗が同日に営業を再開します。

店名	開店予定日	開店予定時間	住所	被害状況
仙台新港店	4月26日	9:00	宮城県仙台市宮城野区中野字神妻101	大津波による浸水
石巻大街道北店	4月26日	9:00	宮城県石巻市大街道北二丁目2番20号	大津波による浸水
石巻渡波店	4月26日	9:00	宮城県石巻市渡波字旭ヶ浦100	大津波による浸水

< 復旧活動 >



この件についてのお問合せ先は、
ミニストップ株式会社
社長室 秘書・広報 菅原・武田・山盛
043-212-6477
<http://www.ministop.co.jp>



「東日本大震災」の対応について

(1) 営業状況について

震災当初は、津波による浸水、停電、断水、商品落下、建物損壊等により160店で一時休業となりました。
3月14日時点

	店舗数	営業	休業	営業率
青森・岩手 宮城・福島 茨城	288	128	160	44.4%

その後、全国各地より人的支援および商品供給等の復旧活動を行った結果、この度、全店舗（1、2）で営業を再開する予定となりました。

- （ 1： 福島県内3店舗が屋内退避区域内のため、休業をしています。）
（ 2： 宮城県内2店舗が津波による店舗流失により、閉店しています。）

(2) 営業再開に向けた復旧活動について

震災発生翌日の3月12日（土）に、現地対策本部に役員を含む12名の幹部社員を派遣して以降、これまでに本部社員延べ115名を被災地に派遣し、復旧活動に取り組みました。

【営業部門の活動】

営業部門では、現地のSA（ストアアドバイザー＝店舗経営指導員）とともに、チーム別に復旧活動を行いました。

- 3/11～3/12 現地SAによる安否確認、情報収集、復旧活動手段の確保
- 3/13～3/15 応援隊も加えた加盟店の安否確認、営業店舗の支援、商品の配送等
- 3/16～ 営業店舗の支援、震災被害の大きい店舗の清掃・瓦礫撤去等

【建設部門の活動】

建設部門では、お取引先さまのご協力のもと、本部社員（建設・開発部）とお取引先さまによる合同チームを編成し、建物の安全確認および応急補修工事を実施いたしました。

3月12日以降、延べ105名（本部社員35名、お取引先さま70名）による復旧活動を実施いたしました。

【商品・物流部門の活動】

今回の震災では、津波により宮城県岩沼市にある仙台定温センターおよび弁当工場の被災により、加盟店に商品を供給する物流網が寸断された状況となりました。

関東地区でも原材料メーカー、工場、配送センター等が一部被災し一時的に商品供給力が低下。また、交通渋滞、燃料不足、計画停電等も影響し、品薄状態が発生いたしました。

ミニストップでは、このような状況を打開するため、イオングループ内の連携及び業界の枠を超えた対応を実施し、全国より商品供給を行いました。

(3) 復旧活動広報ブログについて

震災の復旧活動および、営業状況の告知を弊社ホームページ内「復旧活動広報ブログ」にて、ご報告しております。

ブログURL <http://officialblog.ministop.co.jp/hukkyu/>



以上